とうきょう
すくわく
プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう　すくわくプログラム
活動報告書
久米川なかよし保育園
ふたばぐみ（1歳児）

とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

施設名	久米川なかよし保育園
施設所在地	東村山市栄町1-6-1ﾘｼｪｽ久米川1階
法人名	有限会社　鷺沼なかよし保育園

1 活動のテーマ

ひかり・影

〈テーマの設定理由〉

戸外散歩をしていると自分の陰に気付く子がいた。影に手を振ってみると、
影が動き、不思議そうに地面をみている子ども達。
「今日はお日様だね」と会話が見られることも多く、影や、光をもっと遊びの中に取り入れていこうと考えた。
保育室で光と影を作り子どもの興味をさらに広げたいと設定した

2 活動スケジュール

1, 影？地面が動いてる（12月）
2, 影踏み鬼ごっこしてみよう（1月）
3, 懐中電灯で遊ぼ（3月）
4, 懐中電灯で宝探し（4月）

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

〈素材・道具〉

懐中電灯、プロジェクター、カラーセロハン、紙コップ、シルエットクイズ

〈環境設定〉

屋外活動の際に、影、光に意識が向くように関わりの中で会話を行う
保育室を暗転させ、影を作り懐中電灯で光を発生させる。色のついた懐中電灯を用意し子ども達も引かりを自由に動かしてみる

4 探究活動の実践

・戸外活動
お天気いい日、空を見上げ「まぶしいね」「今日は雲が一つもないひだね」と
つぶやく子どもがいた。影を見て「くろいのある」と気づく。
・手作り懐中電灯
　紙コップに絵をかき壁に映す、動く飛行機やキャラクターに指をさして追いかけていた。なんでだろ？と不思議に思いながらも自分で懐中電灯を持つと光を動かして興味を広げていた。プロジェクターで自分の映る動画を上映し、
「あっ、〇〇だ」「〇〇（友達のなまえ）ーー」と、子ども同士の言葉がたくさん聞こえていた。
・宝探し
懐中電灯を持ち保育室を探検、光を当てて見えるおもちゃやお部屋の鍵などに夢中になって見つめていた

5振り返り

懐中電灯で壁に光をうつすと「あっ」と光を目や手を使って追う姿があった
色のついた光、キャラクターの絵が壁に映るとさらに子どもの興味はワクワクと
なり、自分で光を操作したくなった。壁や自分、保育士、カバン、に光をあて、「光った」と嬉しそうに保育士に気づきを伝えてくれた
。プロジエクターで自分の映る動画を映し出すと、身体をふるわせて喜ぶ姿があった。日頃、暗い中で遊ぶことはなく、暗い＝寝る、おばけ？怖い　など不安をイメージしてしま子も少なくないが、今回暗い中での活動で￥を行い、回数を重ねる度に、暗い＝何が出てくるのだろう？と楽しいイメージも持てたような気がする。

１　活動のテーマ

光・影

２　問いを考える

散歩で歩く道中、地面に映る影に手を振ってみた。不思議そうに動く影を見つめる子や「あ」っと陰に気付く子光と影を通して光と影にふれてみる

１２月　影見ーつけた　お日様はあったかいね
　１月　影踏み鬼ごっこしてみよう
　２月　懐中電灯で遊ぼう
　３月　懐中電灯で宝探し

３　環境をデザインする
活動のために準備した素材や道具

- 懐中電灯
- プロジェクター
- カラーセロファン
- 紙コップで作る懐中電灯
- シルエットクイズ

『影』『光』　身近にあるものだが、意識して気づけるように戸外活動を設定する

懐中電灯を様々用意し、子ども達の興味関心に合わせ展開できるように準備する

4　探究活動の実践

はっぱ、あながあいてる？

「キリンがでてきた！」
壁に出てくる　動物に大喜び！

懐中電灯を持って、保育園の中を探検もしました

自分でも自由に光を作れたね。
お友達の色を見つけてかさねていました

光で見る、３匹の子豚。
動くオオカミを目で瞬時に追っていました。不思議だね、本物みたい

5　振り返り

光と影は身近にありながら普段意識をしていないが、子ども達の歩く影に手を振ったり、影で鬼ごっこをしたり、いろいろ遊びが広がってきた

シルエットクイズでは形を見てイメージして答えるやり取りに子どもの表情がとてもイキイキしていた。興味があることに一生懸命に目を向け考えていた。

懐中電灯で壁に光を照らすと、「ハッ」として一気に光を目で追っていた。動く光に反応していた。光がテーマは難しいかなとも思ったが、行ってみると楽しみやすく、子どもになじみやすいテーマになった

光・影

太陽のまぶしい日、空を見て「今日は雲が一つもないね」と子どもからかけられた言葉。あーなんてきれいで素直な表現と、とっても優しい気持ちになった

部屋を暗くすると一瞬不安になる。子どもにとって明暗は　安心と不安ともいえる。思い出DVDを壁に映しだし、壁に映る自分の顔に嬉しそうに反応し全身で喜びを表していた。

暗闇の中、光の鬼ごっこ（投影）や床や天井に好きなキャラクターが出てくると、座っていた身体が、膝立になり、子どものワクワクする好奇心、気持ちがますます膨らんできた。
子ども達の説教的に参加する姿がよかった
楽しいテーマになった